

議会のあり方調査特別委員会・企画調整部会記録

開 会 年 月 日	平成30年 2 月 15 日
開 会 時 刻	午前11時28分
閉 会 時 刻	午前11時48分
出 席 委 員 名	◎中山裕司 ○品川幸久 福井輝夫
	宿 典泰 上村和生 浜口和久 吉井詩子
	西山則夫（議長）
欠 席 委 員 名	鈴木豊司
署 名 者	中山裕司
担 当 書 記	杉原正基
審 査 案 件	1 これまでの協議の経過について
	(1) 条例等検討分科会からの報告
	(2) 広聴検討分科会からの報告
	(3) 広報検討分科会からの報告
	2 予算審査について
	(1) 条例等検討分科会からの報告
説 明 者	議会事務局長、次長、議事係長、調査係長、
	議事係書記、調査係書記

会議の概要

中山委員長開会を宣言、直ちに会議に入り、「これまでの協議の経過について」及び「予算審査について」を議題とし、各分科会のこれまでの協議の経過について各会長からの報告、報告に対する質疑の後、前回の会議で確認した今後の基本的な進め方も含めて全体会で報告することを確認するとともに、「予算審査について」は、条例等検討分科会の報告のとおり全体会で報告することを確認した。

開会 午後2時52分

◎中山裕司委員長

ただいまから、議会のあり方調査特別委員会企画調整部会を開会いたします。

本日の出席者は、7名でありますので会議は成立いたしております。

本日、ご協議いただきます案件は、お手元の事項書のとおりです。

それでは、会議に入ります。

最初に、「これまでの協議の経過について」を議題とします。

条例等検討分科会福井副会長から報告をお願いします。

○福井条例等検討分科会副会長

それでは、条例等検討分科会の「これまでの協議の経過」について、御報告申し上げます。

私ども条例等検討分科会の具体的な調査、検討項目は、「(仮称)伊勢市議会議決すべき事件に関する条例」、「政策立案」、「事務局体制の強化・充実」、「予算・決算審査のあり方」、「議長任期」、「管外行政視察の抜本的な見直し」に加え、1月26日の本分科会で新たに検討が必要となった事項として、伊勢市議会議員政治倫理条例第3条第4号の「市から補助金等の交付を受けている団体を代表する役員に就任しないこと」の規定について、解釈を明確にする必要が生じたことから、調査・検討をしていくことが確認されましたので、御理解を賜りたいと存じます。

まず、最優先項目の「予算・決算審査のあり方」につきましては、3月定例会で運用されることから、2月5日には条例等検討分科会としての方向性を確認しており、次の議題であります「予算審査について」の中で御報告申し上げることとしております。

また、2月5日の本分科会では、「伊勢市議会議員政治倫理条例に掲げる補助金等を受ける団体・役員の解釈について」及び「伊勢市議会の議決すべき事件に関する条例

について」の協議をはじめたところでございます。

以上、条例等検討分科会から「これまでの協議の経過」について、御報告いたします。

◎中山裕司委員長

ただ今、報告をいただきました、「これまでの協議の経過」につきまして、御発言がありましたら、お願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、条例等検討分科会福井副会長から報告のありました、「これまでの協議の経過」につきましては、前回の会議で確認をしました、今後の基本的な進め方も含めまして、議会のあり方調査特別委員会の全体会で御報告いただくことに、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

異議なしと認めます。

そのように決定しました。

次に、広報検討分科会浜口会長から報告をお願いします。

○浜口広報検討分科会会長

それでは、広報検討分科会の「これまでの協議の経過」につきまして、御報告申し上げます。

私ども、広報検討分科会のこれまでの具体的な調査、検討項目は、「市議会だより」、「ホームページ」、「議会のライブ中継」、「議会のICT化」、「その他広報に関すること」であり、1月17日の本分科会の中でもこれらの項目について、継続して調査、検討をしていくことが改めて確認されました。

その中で、「市議会だより」については、先日2月15日号を発行したところであり、今回から議案質疑及び一般質問の記事に各議員の顔写真を掲載しました。

次に、「議会のICT化」については、ペーパーレス化という観点から電子メールの活用やタブレット運用等について、当局側とも調整を図りながら、今後協議を継続したいと思っております。

今後、議会のICT化等、広報活動の実施について話が詰められましたら追って全議員へ御案内させていただきたいと思っております。

以上、広報検討分科会から「これまでの協議の経過」について、御報告いたします。

◎中山裕司委員長

ただ今、報告をいただきました、「これまでの協議の経過」につきまして、御発言がありましたら、お願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、広報検討分科会浜口会長から報告のありました、「これまでの協議の経過」につきましては、前回の会議で確認をしました、今後の基本的な進め方も含めまして、議会のあり方調査特別委員会の全体会で御報告いただくことに、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

異議なしと認めます。

そのように決定しました。

次に、広聴検討分科会宿会長から報告をお願いします。

○宿広聴検討分科会会長

それでは、広聴検討分科会の「これまでの協議の経過」につきまして、御報告申し上げます。

私ども、広聴検討分科会の具体的な調査、検討項目につきましては、前回の企画調整部会でも御確認をいただきましたが、「議会アンケート」、「議会報告会・意見交換会」、「広聴機能のあり方・仕組みづくり」、及び「その他広聴に関すること」でございます。

2月13日の本分科会では、これらの項目について、継続して調査、検討をしていくことを改めて確認をいたしました。

まずは、「議会報告会・意見交換会」について、取り組むこととし、昨年、皇學館大学との交流を図り、大学生と意見交換イベントを実施しましたが、2月23日に本分科会委員で大学へ出向き、昨年のふりかえりも行いながら、より充実した広聴活動となるよう、学生と協働で意見交換の手法を協議する予定でございます。

今後、意見交換会等、広聴活動の実施について話が詰められましたら、追って全議員へご案内させていただきたいと考えております。

以上、広聴検討分科会から「これまでの協議の経過」について、御報告いたします。

◎中山裕司委員長

ただ今、報告をいただきました、「これまでの協議の経過」につきまして、御発言がありましたら、お願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、広聴検討分科会宿会長から報告のありました、「これまでの協議の経過」につきましては、前回の会議で確認をしました、今後の基本的な進め方も含めまして、議会のあり方調査特別委員会の全体会で御報告いただくことに、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

異議なしと認めます。

そのように決定しました。

次に、「予算審査について」を議題とします。

条例等検討分科会・福井副会長から報告をお願いします。

○福井条例等検討分科会副会長

予算決算審査のあり方について、前回の企画調整部会の開催以降、分科会の会議では1月26日と2月5日の2回の分科会で発言を取りまとめ、条例等検討分科会の方向性を確認いたしました。

条例等検討分科会での意見を総括すると、反対、あるいは審査状況に疑問を感じるという意見の中で3月定例会の30年度予算は、これまでの分科会方式で審査するという考え方が、大勢を占めておりました。

ただし、分科会方式の継続には改革が必要という意見もありました。

資料2を御覧下さい。県下の議会の予算・決算審査の状況を見ましても、津市の決算特別委員会のみ9名の委員での審査となっており、それ以外は全て予算決算特別委員会での分科会方式や、全議員での審査、予算・決算常任委員会の設置、所管常任委員会への審査付託と、スタイルは異なるものの全議員が関わる事が出来る仕組みづくりの中で取り入れている状況にあります。

全員参加と言いながら、その全員参加に疑問を抱いたり、発言の機会を訴える意見もありますが、事前のそれらは議員自らの意識改革が必要という意見がありました。

その様な状況も踏まえ、平成30年3月の予算審査につきましては、前年同様分科会

方式での予算審査を提案して行くということで決定をしたところであります。

企画調整部会においても、よろしく御決定下さるようお願いいたします。

◎中山裕司委員長

ただ今、報告をいただきました、「予算審査」につきまして、御発言がありましたら、お願いします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

御発言もないようですので、「予算審査」につきましては、福井副会長説明のとおり、議会のあり方調査特別委員会の全体会で御報告いただくことに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

◎中山裕司委員長

異議なしと認めます。

そのように決定しました。

以上で本日、御協議願う案件は、終了いたしました。

本日は、この程度で企画調整部会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

閉会 午後3時4分

上記署名する。

平成30年2月15日

委員長 中山 裕司